

# 2022年3月期第1四半期セグメント資料

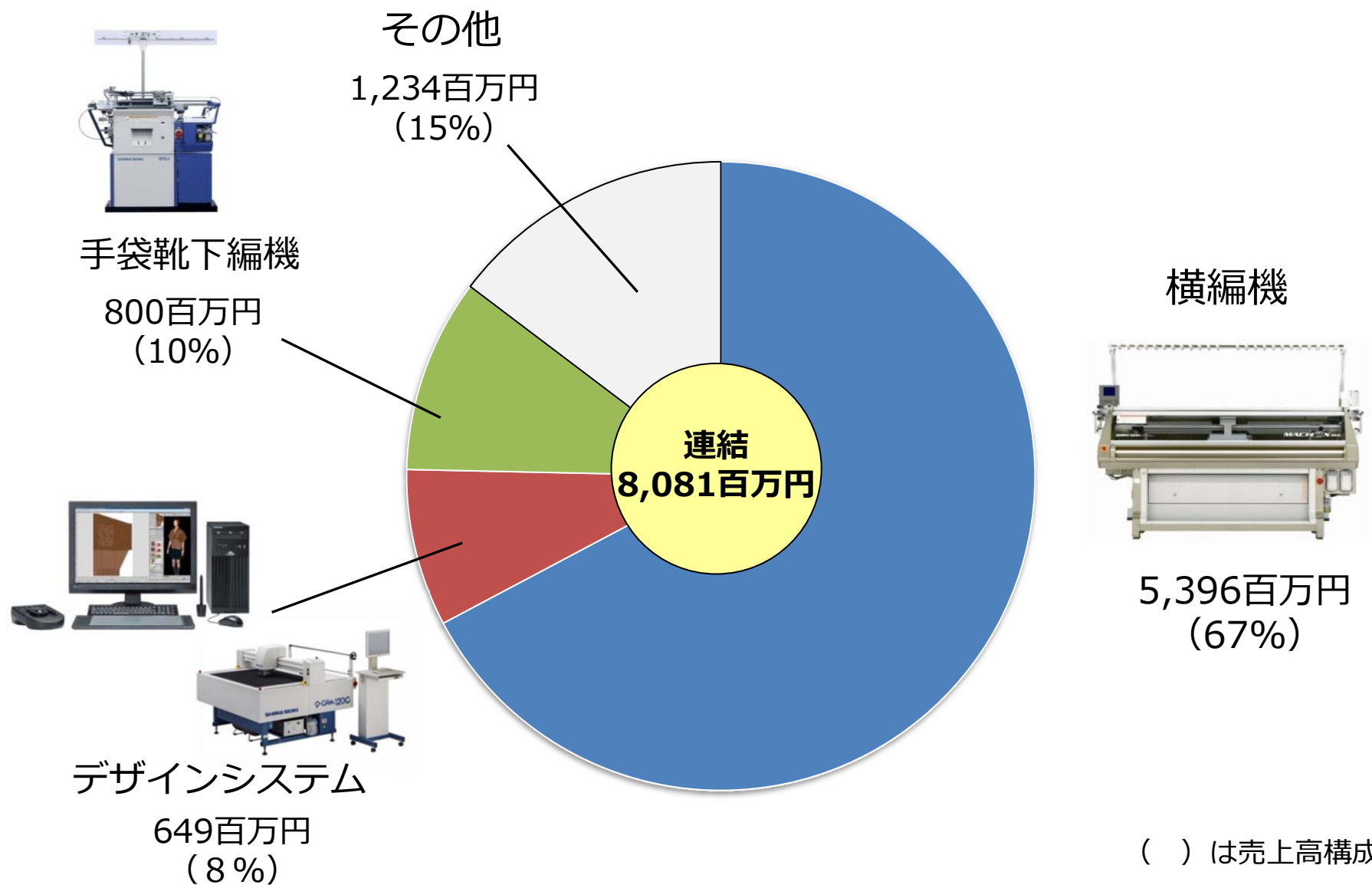
株式会社島精機製作所

2021年8月

# 2022年3月期第1四半期業績概要

(百万円)	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期
売上高	8,081	4,954	24,489
営業利益	△644	△1,970	△9,143
経常利益	△154	△1,414	△7,273
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△271	△1,463	△17,866
為替レート			
ドル・円	110.58	107.74	期末為替レート (上段)
	109.85	107.95	平均売上レート (下段)
ユーロ・円	131.58	121.08	
	131.83	118.54	

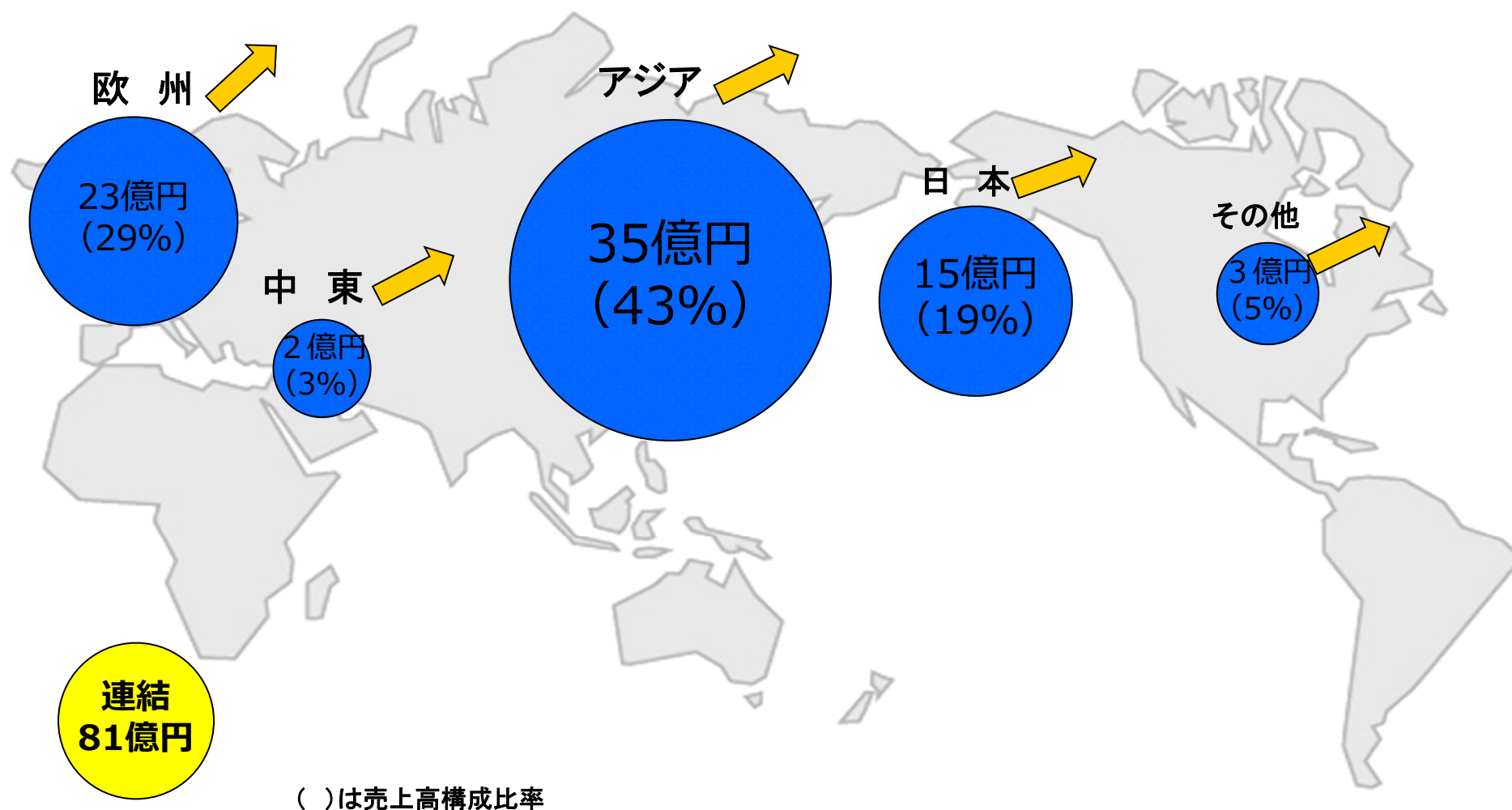
# 事業セグメント別売上高構成〔連結〕



# 事業セグメント別売上高・営業利益（第1四半期）

(百万円)	売上高	前年同期比(%)	営業利益	前年同期比(%)
横 編 機	5,396	+64.2	516	—
デザ イシステム	649	+60.8	148	+970.2
手袋靴下編機	800	+134.9	55	—
そ の 他	1,234	+33.6	174	—
消 去			△1,540	
合 計	8,081	+63.1	△644	—

# 地域別売上高構成〔連結〕



# 地域別売上高〔連結〕

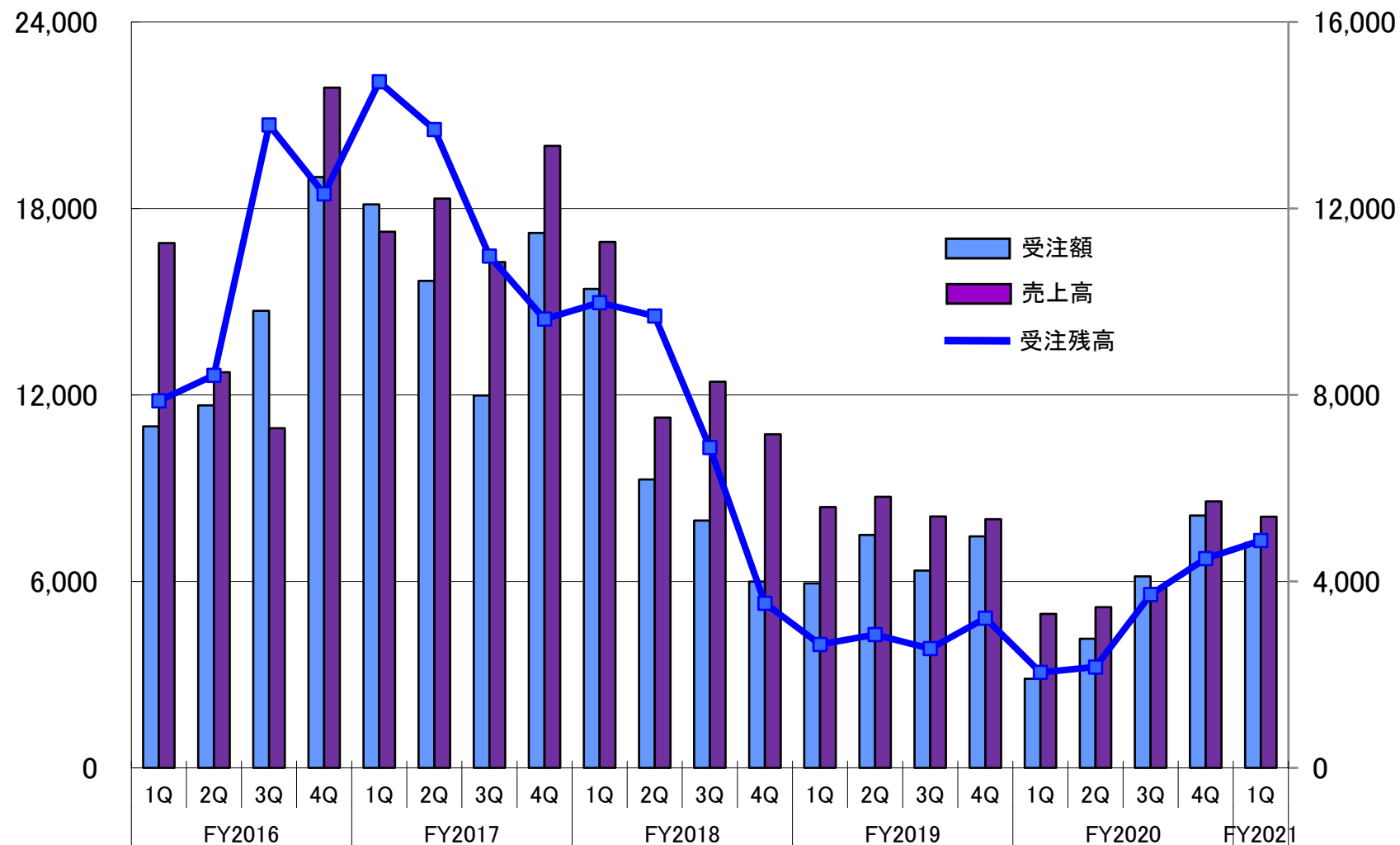
(百万円)

地 域	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減率 (%)
日 本	1,556	1,175	+32.4
欧 州	2,368	866	+173.4
ア ジ ア	3,508	2,572	+36.4
中 東	264	152	+73.4
その他(海外)	383	188	+103.7
合 計	8,081	4,954	+63.1

# 受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



# 四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2020/3				2021/3				2022/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	8,393	8,724	8,089	7,998	4,954	5,171	5,787	8,574	8,081
営業利益	△872	△1,838	△1,145	△1,746	△1,970	△2,213	△2,371	△2,588	△644
経常利益	△944	△1,954	△963	△1,721	△1,414	△1,721	△1,777	△2,360	△154
親会社株主に帰属する当期純利益	△689	△1,372	△852	△5,513	△1,463	△1,745	△1,861	△12,796	△271

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受注高	5,934	7,495	6,345	7,447	2,868	4,153	6,160	8,120	7,235
受注残高	2,647	2,858	2,558	3,211	2,048	2,163	3,716	4,489	4,877



# 2022年3月期計画〔連結〕

(百万円)	2022年3月期	前年比 (%)	2021年3月期
売上高	28,000	+14.3	24,489
営業利益	△7,000	-	△9,143
経常利益	△6,300	-	△7,273
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△6,400	-	△17,866

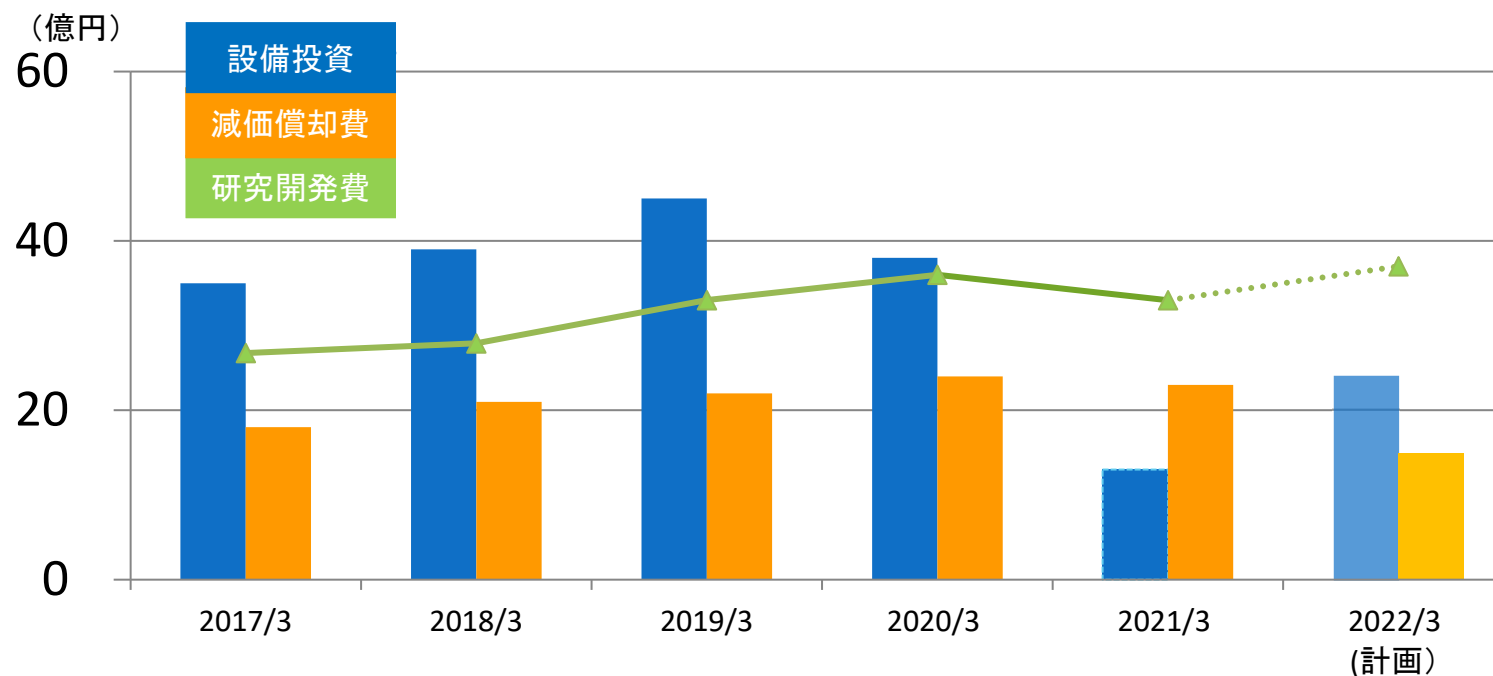
通期計画の前提 為替レート 105円/ドル 125円/ユーロ  
 為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル18百万円 ユーロ3百万円

# 研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

## 開発スピードはゆるめずに

21年3月期（実績） 設備投資13億円（リース資産2億円含む）  
減価償却費23億円、研究開発費33億円

22年3月期（計画） 設備投資24億円（リース資産9億円含む）  
減価償却費15億円、研究開発費37億円



# 株主還元

2021年3月期

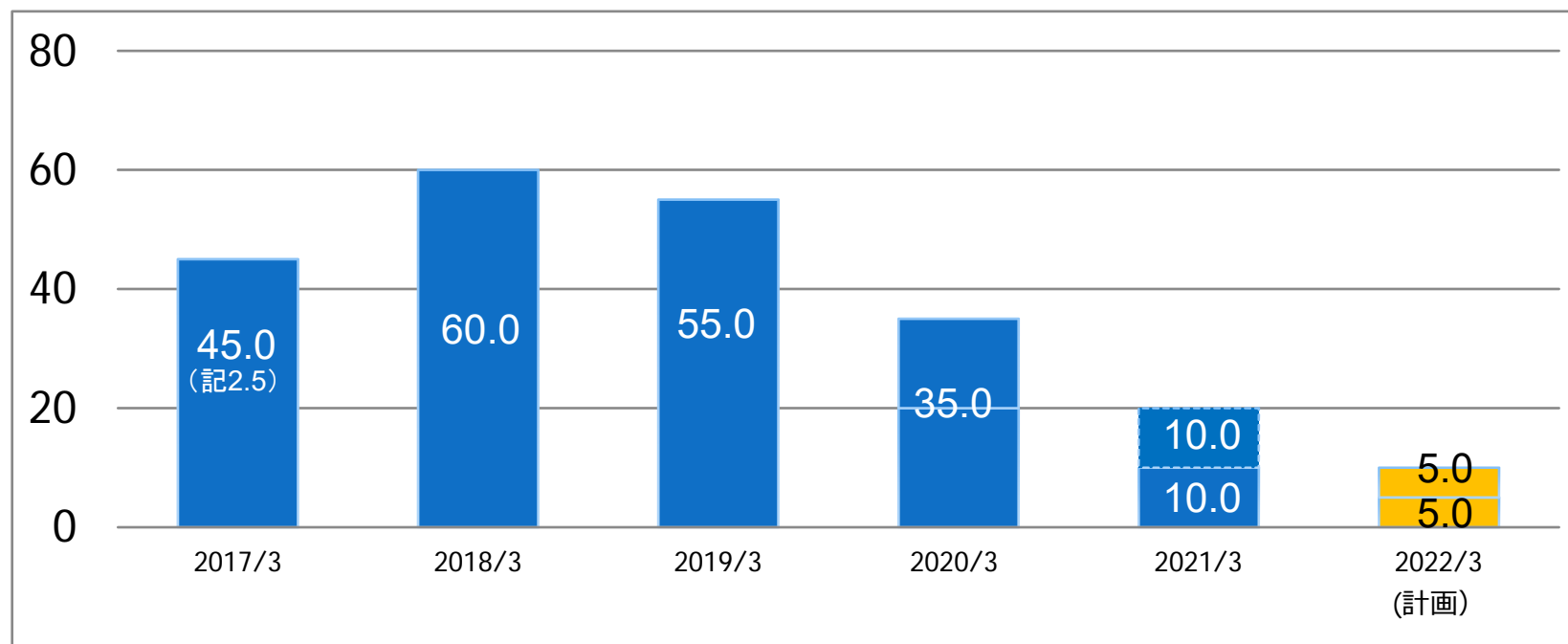
中間配当金10円、期末配当金10円

2022年3月期(計画)

中間配当金5円

期末配当金5円

(円)



# アパレル業界の状況

---

## (コロナ前)

- ・ 米中貿易摩擦による生産地シフト（ASEAN等へ）
- ・ サステナビリティ対応による生産・在庫数の意識が変化

## (コロナ禍)

- ・ サプライチェーンの分断
- ・ 一部アパレルで実店舗削減、ブランド削減の動き
- ・ Eコマースによる販売拡大

## (これから)

- ・ 世界規模での生産革命が始まる  
サプライチェーン全体のデジタル化
- ・ 環境配慮の取組みが進展（サステナビリティ）

# アパレル産業の課題と当社の機会

## <課題>

- 素材から最終製品まで一気通貫での環境配慮設計が導入されにくい産業構造
- 大量生産・大量消費型・過剰在庫  
(リードタイムが長期)
- 季節(春夏秋冬)への対応  
長い商品製作期間と短い販売期間  
気候に左右・流行は1年
- 環境負荷低減  
(社会のサステナビリティ)
- 消費者行動の変化(エシカル消費等)



WHOLEGARMENT®



## <当社の機会>

- 環境問題(気候変動、廃棄、資源、水)
- 文化(伝統技術、暮らし方、ジェンダー)  
多品種少量、追加生産(ホールガーメント)
- 消費者の動向(EC、D2C、パーソナライズ)
- デザイン(3D、VR、ウェアラブル)
- 生産(パーソナライズ、サーキュレーション)  
デザインシステム・ホールガーメント
- 素材(バイオ素材、新素材)  
子会社: 東洋紡糸工業(株)

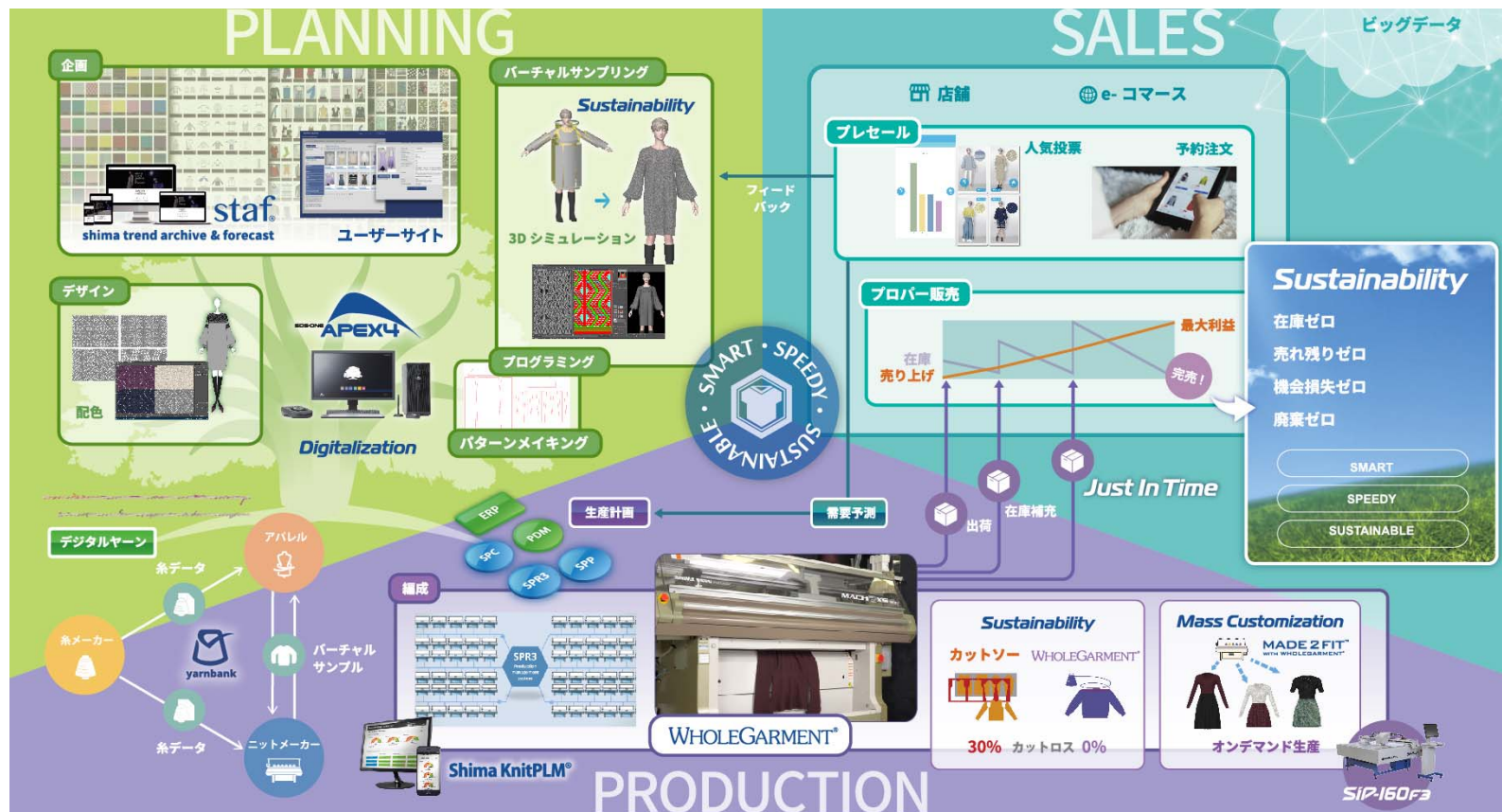


「トータルファッションシステム」  
を中心としたソリューション提案で課題解決

# トータルファッションシステム

当社が提唱する「トータルファッションシステム」は、

デジタル化、マスカスタマイゼーション、サステナビリティを実現  
3Dデザインシステムを核に、企画・生産・販売の全ての工程がそれぞれ相互に情報を取り交わし  
密接に関わりスピーディーでスマートな環境に優しいモノづくりが可能



# 新サービス



デジタルヤーンソーシングウェブサイト



アパレルデザインソフトウェア



2021年3月サービス開始



SHIMANAVI™

eラーニングシステム

# 世の中のニット化～ *KNITify the World™* Smart Solutions in Textiles ～

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」は大量生産型のモノづくりからの脱却、個性化の時代に対応します。

横編み技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野にひろげ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



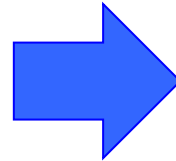
インレイ（横糸挿入）編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、  
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙